

くまもと農業・最適化推進運動に係るモデル地区の取組み

農委会名：産山村農業委員会

1 モデル地区の概要

- (1) 地区名：弁財天
- (2) 地区内の農地面積：40ha
- (3) モデル地区を担当する農業委員数及び推進委員数
 - ① 農業委員数：1人
 - ② 推進委員数：1人

2 地区の実態を踏まえた取組みの方向

当地区は、産山村のほぼ中央に位置し、水稻栽培と施設野菜等を組み合わせた複合経営が営まれている。谷あい水田は、狭小で傾斜地が多く、圃場整備が行われていない条件不利地であるため、農業後継者が少なく、高齢化が急速に進行している状況である。

当地区が有する様々な課題の解決に向け、農業者の経営安定を図る効果的・効率的な水田農業を実践するため、地域での話し合いを進める。

3 取組みの概要

- (1) 地域で話し合いを行い、今後の方向性（法人組織設立）について、意見交換を行った。
- (2) 先進地研修を行い、法人組織設立の経緯や課題等について、意見交換を行った。



【地域での話し合いの様子】



【先進地研修の様子】

4 取組みの成果

- (1) 受け手・出し手の意向把握件数 26件
今後の農業経営について、農家の意向を把握したところ、半数程度が10年以内に辞めると回答がっており、地域の実態把握が出来た。

5 課題と今後の方針等

上記の課題を解決していくため、令和5年度に農事組合法人を設立し、農業者の経営安定を図る。